

平成 2 3 年 度

# 第 6 8 回 全 国 保 健 所 長 会 総 会

と き：平成 2 3 年 1 0 月 1 8 日 (火)

と ころ：秋田市「秋田キャッスルホテル」

全 国 保 健 所 長 会

## ◇ 次 第 ◇

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 表彰式（全国保健所長会長表彰）
4. 来賓祝辞
5. 講 演
6. 報告事項
  - 1) 会務報告
  - 2) 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告
  - 3) 委員会報告
7. 議 事
  - 第1号議案 平成22年度事業報告、収入支出決算報告及び監査報告
  - 第2号議案 平成23年度補正予算（案）について
  - 第3号議案 平成24年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について
  - 第4号議案 役員改選について
8. 名誉会員の推戴について
9. 次期開催地代表挨拶
10. 閉 会

☆総会議事終了後、以下のプログラムを予定しております。

13時25分～14時25分 研究事業報告

14時30分～17時00分 会員協議 テーマ：東日本大震災を経験して、今後保健所が備えるべき体制について

## [報告事項]

### 1. 会務報告

全国保健所長会活動（平成23年度）

月	日	活 動 状 況
4月	21日 〃	東京地域ブロック総会 特別区部会総会
5月	12日 17日 〃 26日	近畿地域ブロック総会 第1回理事会 第1回総務、渉外、学術、研修、広報 担当理事会 東北地域ブロック総会
6月	17日 〃	「平成24年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」を提出 第1回健康危機管理に関する委員会
7月	8日 11日 14日 29日	関東甲信越静地域ブロック総会 北海道地域ブロック総会 九州地域ブロック総会 東海北陸地域ブロック総会
8月	2日、3日 23日 〃 〃	指定都市部会総会 第2回理事会 第2回総務、渉外、学術、研修、広報 担当理事会 第1回地域保健の充実強化委員会
9月	8日 30日	中国・四国地域ブロック総会 第2回健康危機管理に関する委員会
10月	17日 18日	政令市部会総会 第68回総会

## 全国保健所長会 役員名簿

会 長 澁 谷 いづみ (愛知県・半田)	監 事 遠 藤 幸 男 (福島県・県南)
副会長 金 田 麻里子 (特別区・荒川区) 総務	” 浦 山 京 子 (特別区・江東区)
” 佐々木 隆一郎 (長野県・飯田) 学術・研修	” 野 尻 孝 子 (和歌山県・御坊)
” 南 部 由美子 (福岡市・早良) 渉外・広報	
” 小 杉 真 吾 (秋田県・秋田中央 兼 由利本荘) *	(H23. 10. 18 現在)

	理 事			理 事	担 当
北海道 1	廣 田 洋 子 (北海道・岩見沢)	/	/	廣田 洋子 宮川 隆美	総務 渉外○
東 北 2	宮 川 隆 美 (青森県・八戸兼 東地方)	阿 部 孝 一 (福島県・郡山市)	/	阿部 孝一 岩間 真人 小松 仁	総務○ 渉外 広報
関 東 甲信越静 3	岩 間 真 人 (静岡県・御殿場)	小 松 仁 (長野県・諏訪)	古 屋 好 美 (山梨県・中北)	古屋 好美 大黒 寛 伊川あけみ	学術 研修○ 研修
東 京 1	大 黒 寛 (東京都・多摩立川)	/	/	中山 治 和田 行雄 笹井 康典	総務◎ 学術○ 総務
東海北陸 2	伊 川 あけみ (石川県・石川中央)	中 山 治 (三重県・津)	/	近末 文彦 竹之内 直人 安達 国良	総務 渉外 研修
近畿 2	和 田 行 雄 (京都府・山城北)	笹 井 康 典 (大阪府・枚方)	/	中田 榮治 大熊 恒郎 益子 まり	総務 学術 学術
中・四国 2	近 末 文 彦 (広島県・西部)	竹 之 内 直 人 (愛媛県・松山)	/	山田 隆良 吉岡 明彦 倉橋 俊至	総務 研修 渉外
九 州 2	安 達 国 良 (大分県・西部)	中 田 榮 治 (熊本県・八代)	/	(指名) 山中 朋子 大江 浩 柳 尚夫	学術◎ 渉外◎ 研修◎
指定都市 2	大 熊 恒 郎 (仙台市・青葉)	益 子 ま り (川崎市・川崎)	/	石丸 泰隆 宇田 英典	広報○ 広報◎
政令市 2	山 田 隆 良 (北海道・函館市)	吉 岡 明 彦 (岡山県・倉敷市)	/		
特別区 1	倉 橋 俊 至 (特別区・渋谷区)	/	/		
指名理事 5	山 中 朋 子 (青森県・弘前)	大 江 浩 (富山県・中部)	柳 尚 夫 (兵庫県・洲本)	石丸 泰隆 (山口県・岩国環境 兼柳井環境)	宇田 英典 (鹿児島県・大口 兼 始良)

注1) \*平成23年度総会まで 注2) 理事の(指名)は会長指名、無印は地域ブロック及び部会選出の理事

注3) 担当の◎印は常務理事、○印は副常務理事

担当理事会	総務担当	渉外担当	学術担当
顧問	金田 麻里子(特別区荒川区)	南部 由美子(福岡市早良)	佐々木 隆一郎(長野県飯田)
常務理事	中山 治(三重県津)	大江 浩(富山県中部)	山中 朋子(青森県弘前)
副常務理事	阿部 孝一(福島県郡山市)	宮川 隆美(青森県八戸 兼 上十三)	和田 行雄(京都府山城北)
	廣田 洋子(北海道岩見沢)	倉橋 俊至(特別区渋谷区)	大熊 恒郎(仙台市青葉)
	山田 隆良(函館市)	岩間 真人(静岡県御殿場)	益子 まり(川崎市川崎)
	笹井 康典(大阪府枚方)	竹之内 直人(愛媛県松山)	古屋 好美(山梨県中北)
	近末 文彦(広島県西部)		
	中田 榮治(熊本県八代)		

担当理事会	研修担当	広報担当
顧問	佐々木 隆一郎(長野県飯田)	南部 由美子(福岡市早良)
常務理事	柳 尚夫(兵庫県洲本)	宇田 英典(鹿児島県始良 兼 大口)
副常務理事	大黒 寛(東京都多摩立川)	石丸 泰隆(山口県岩国環境 兼 柳井環境)
	伊川 あけみ(石川県石川中央)	小松 仁(長野県諏訪)
	吉岡 明彦(倉敷市)	
	安達 国良(大分県西部)	

## 2. 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

### 1) 総務担当報告

#### (1) 会員数（保健所数）について

平成22年度 494 → 平成23年度 495（4月1日現在）

#### (2) 名誉会員の承認について

土居 浩（前長崎県県南保健所長）

#### (3) 第57回全国保健所長会長表彰の受賞者について

宮内 健（北海道釧路保健所）他 54名（別添資料参照）

### 2) 渉外担当報告

#### (1) 平成24年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の作成

- ①平成23年5月17日の理事会に要望書原案提出し、取りまとめ手順説明
- ②全国保健所長会役員に対する意見照会（5月18日～5月25日）
- ③全国保健所長会会員に対する意見照会（6月2日～6月6日）
- ④渉外担当理事で要望書最終案取りまとめ、会長・副会長が最終確認

#### (2) 平成24年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の提出と配布

- ①平成23年6月17日 厚生労働省に要望書提出

出席者；全国保健所長会（会長、副会長、渉外担当常務理事、事務局）

訪問先；外山健康局長、梅田食品安全部長、矢島技術総括審議官、塚原厚生科学課長等  
厚生労働省関係局・課・室に要望書提出

- ②都道府県庁、保健所へ要望書配布、全国保健所長会ホームページに掲載

### 3) 学術担当報告

#### (1) 平成23年度地域保健総合推進事業 関係

平成23年6月28日 事業説明会開催、以下7事業の実施が決定。

- ①地域医療再生計画における保健所の関与に関する研究

（山口県宇部環境保健所：恵上 博文）

- ②地域における低出生体重児予防要因に関する検討事業

（長野県諏訪保健所：小松 仁）

- ③健康なまちづくりにおける保健所の役割と機能に関する研究

（北海道岩見沢保健所：廣田 洋子）

- ④公衆衛生に係る人材の確保・育成に関する調査および実践活動

（鹿児島県始良 兼 大口保健所：宇田 英典）

- ⑤保健所のレジオネラ対策における簡易迅速な検査方法の実用化と

自主管理の推進に関する研究

（東京都多摩立川保健所：大黒 寛）

- ⑥精神障害者の地域移行地域定着及びアウトリーチにおける保健所の果たすべき役割に関する研究

（兵庫県洲本保健所：柳 尚夫）

- ⑦東日本大震災被災保健所に対する今後の支援のあり方に関する研究

（愛知県一宮保健所：松本 一年）

(2) 地域保健総合推進事業の活用状況に関する調査の実施

これまでの事業の成果の把握と今後の事業実施の参考資料とするため、6月から7月にかけて、平成17年度から21年度に実施した分担事業者にアンケート調査を実施（対象41事業：38事業から回答あり回収率93%）

(3) 今後の活動予定

- ①平成23年度地域保健総合推進事業中間報告会（平成23年12月予定）及び発表会（平成24年3月1日、2日：都市センターホテル）
- ②平成24年度募集要綱作成

4) 研修担当報告

全国保健所長会研修会

- (1) テーマ : 東日本大震災から学ぶこれからの公衆衛生のあり方  
～災害時の保健所相互支援の今後のあり方：D P A T構想とは～
- (2) 日 時 : 平成24年1月30日（月）午後1時～、31日（火）午後3時
- (3) 場 所 : 仙台商工会議所 7階大会議室
- (4) 内 容 : 被災から10ヶ月の時点での被災県の保健所の現在までの状況分析とそこから得られた今後の災害後の保健所のあり方を検討し、新しいシステムを模索する。

(5) プログラム :

<1日目> 「被災県の保健所から学ぶ」

被災県保健所の現状報告から、課題の中で何が解決され、何が残っているのか、そして今後必要なことは何か、また支援受け入る保健所は、今後どのような準備が必要か考えたい。

- ①宮城県 保健所長 + 保健師
- ②岩手県 保健所長 + 栄養士
- ③福島県 保健所長 + 保健師
- ④全国保健所長会から 松本一年 被災保健所支援に関する研究班報告
- 討論 発表者とフロアーとの意見交換

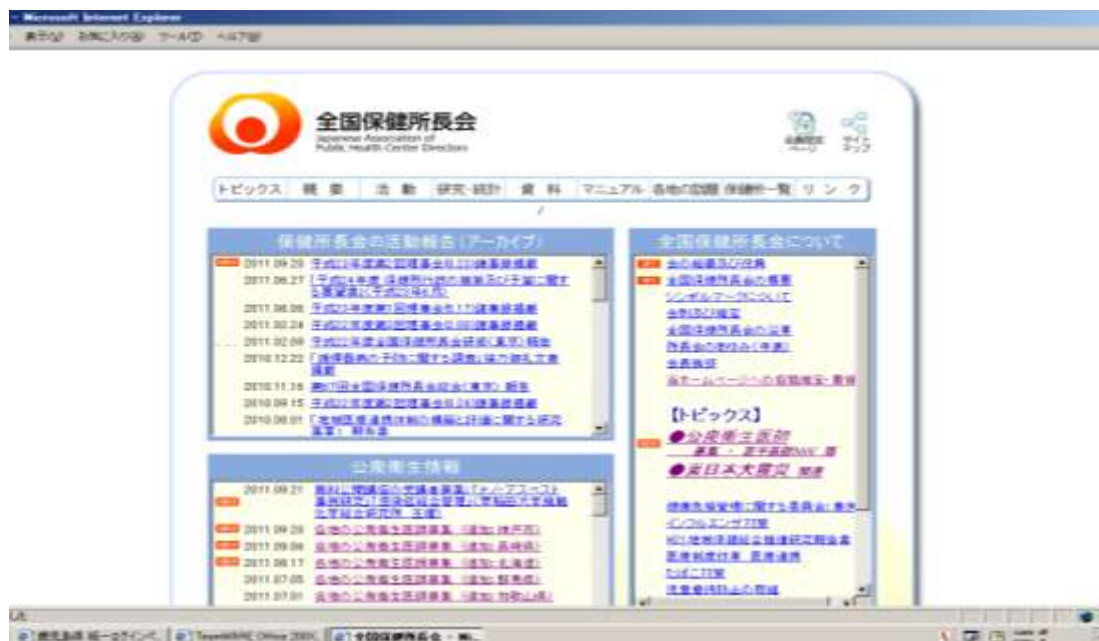
<2日目> 「今後保健所は、支援する側とされる側がどのような体制をつくるのか」

- ①危機管理研究班報告 全国保健所長会副会長 佐々木隆一郎
- ②厚生労働省 地域保健室から 室長ないしは室長補佐  
国としての今回の支援の評価と今後の方向
- ③国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 金谷泰宏  
今後の保健所危機管理研修やシステムの方向
- ④大分県福祉保健部 藤内修二（被災地支援公衆衛生フォーラム）  
県内の連携と全国の連携のモデル D P A Tの方向
- 全体討論（シンポジウムスタイル） 座長：中瀬克己（岡山市保健所長）  
今後の災害支援の公衆衛生課題の整理を発表者と会場とで議論をする

## 5) 広報担当報告

### (1) 全国保健所長会ホームページの作成、管理及び運営

- ①ホームページへの掲載について：保健所長会ホームページに掲載の申請書で申請後、広報担当理事会（新規・検討を要するものに関しては一部会長・副会長等）と議し承認されたものについて、「保健所長会の活動報告（アーカイブ）」、「公衆衛生情報」、「全国保健所長会について」（含むトピックス）の各項目に掲載・更新している。保健所長会の活動を対外向けに発信するツールであることから、積極的に申請・掲載して欲しい。
- ②「新型インフルエンザ」が平成23年4月1日以降、季節性インフルエンザ扱い「インフルエンザ(H1N1)2009」となったことから、これまでの新型インフルエンザ対策に関する取り組みや各種情報等について、保健所長会として実施した国への意見書や要望書については「保健所長会の活動報告（アーカイブ）」へ保存し、それ以外の掲載情報については「全国保健所長会について」の「インフルエンザ対策」にまとめて移行・掲載した。
- ③東日本大震災の発生に伴う関連情報等について、情報提供を行っている。
- ④公衆衛生医の確保と人材育成について、公衆衛生医師確保は健康危機管理・地域保健の充実強化の両面から必要不可欠であることから、【トピックス】コーナーに「公衆衛生医師募集・若手医師NW（ネットワーク）等」を作成し、全国の自治体の公衆衛生医師募集リスト、厚労省の取り組み、若手メーリングリストの紹介等について掲載した。今後とも、理事会、委員会、地域保健総合推進事業等の報告を掲載し、全国保健所長会の活動として周知することとしている。



### (2) 公衆衛生情報誌への掲載

「保健所長会から皆さんへ」と題し保健所長会からメッセージを掲載している。2010年度は金田麻里子所長（特別区荒川区保健所）、毛利好孝所長（姫路市保健所）、小松仁所長（長野県諏訪保健所）、石丸泰隆所長（山口県柳井環境保健所）、今年度は宮川隆美所長（青森県八戸保健所）、小椋真吾所長（秋田県中央保健所）、大江浩先生（富山県中部厚生センター）に執筆依頼し、掲載された。今後とも保健所長会の取り組みや保健所長の意見等について所長会のメンバーに順次、執筆依頼し掲載する予定。



### 3. 委員会報告

#### 1) 地域保健の充実強化に関する委員会

委員会構成 顧問 南部由美子（福岡市早良） 金田麻里子（荒川区）  
廣田洋子（北海道岩見沢：委員長） 田上豊資（高知県中央東福祉：副委員長）  
山本長史（北海道上川） 山中朋子（青森県弘前） 阿部孝一（郡山市）  
大黒寛（東京都多摩立川） 横川博（富山県新川） 服部悟（愛知県衣浦東部）  
和田行雄（京都府山城北） 笹井康典（大阪府枚方） 牧野由美子（島根県益田）  
宇田英典（鹿児島県始良兼大口）

平成 23 年度の課題について

- (1) 「健康なまちづくりにおける保健所の役割と機能」班（2 年目）の調査研究
  - 1 年目の研究理念に基づき、保健所が健康なまちづくりに関与している事例を集める
  - 事例の中から更に推薦事例を選ぶこととする
    - 保健所が市町村等と連携してまちづくりをすすめている事例を選び「健康なまちづくりに必要な要素」という観点から事例を分析する。必要に応じ、現地調査を行う。
- (2) 公衆衛生医師等の人材確保について
  - ① 公衆衛生医師確保・育成対策の検討および検証
  - ② 実態把握（全国調査）：平成 17 年／19 年の報告書を参考に、若手医師の要望や現状を盛り込んだ内容の調査を全国自治体に対して実施
  - ③ ②を踏まえ実態把握（事例調査および若手医師）を行う
  - ④ 公衆衛生医師パンフレット作成（19 年作成パンフの改訂）
    - 平成 19 年作成のパンフレットの改訂
  - ⑤ 若手医師のメーリングリストの検討
  - ⑥ その他、全国保健所長会ホームページの充実、医師臨床研修「地域保健」の保健所での受入を調査する予定
- (3) 東日本大震災を受けた「地域保健のあり方」検討について
  - 甚大な被害を受けたことによる公衆衛生的課題とは別に、災害対応の中で平常時からの地域保健を取り巻く構造的な課題が浮き彫りになっている。（特に保健所と市町村の連携）
  - 平常時の公衆衛生活動と体制の問題点に関する現場の声を収集・整理して今後の地域保健対策検討会の論議に反映させることとする。

#### 2) 健康危機管理に関する委員会

##### (1) 委員会が担う役割

- ① 地域健康危機管理事業その他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討
- ② 全国への情報発信
- ③ 健康危機管理に関する随時の課題に対する検討

##### (2) 委員会の構成

顧問 佐々木隆一郎（長野県飯田）

委員 岸本 泰子（委員長：島根県松江）、高野 正子（副委員長：高槻市）、山口 一郎（山形県村山）、大橋 俊子（栃木県東）、石田久美子（茨城県つくば兼常総）、小窪 和博（千葉県

海匠)、清古 愛弓(千代田区)、大江 浩(富山県中部)、松本 一年(愛知県一宮)、柳 尚夫(兵庫県洲本)、中瀬 克己(岡山市)、石丸 泰隆(山口県岩国兼柳井)、中里 栄介(佐賀県伊万里兼杵藤)

### (3) 委員会の活動

#### 【委員会の開催】

##### ① 第1回委員会の開催

日時：平成23年6月17日(金) 13:00~16:00 場所：都道府県会館

##### ② 第2回委員会の開催

日時：平成23年9月30日(金) 11:00~15:00 場所：公衆衛生協会3階会議室

#### 【東日本大震災に関する活動】

##### ① 会員向けメッセージのとりまとめ

9月30日の第2回健康危機管理に関する委員会で、会員向けメッセージ「東日本大震災と地域保健の推進に関する全国保健所長会の対応について」を取りまとめ、発出した。

##### ② 地域保健推進戦略会議への参画と検討

##### ③ 地域保健総合推進事業「東日本大震災被災地保健所への支援に関する研究」

への参画と検討

#### 【保健所健康危機事例の収集及び活用についての検討】

##### ① 健康危機事例の収集状況

今年度の重点事項を「化学物質が原因と思われる健康被害」「医療安全(医療事故)」「大規模食中毒」「広域食中毒」「結核集団発生」「鳥インフルエンザ」の5項目とし、H-CRISISへの搭載を依頼した。平成23年9月30日現在18例である。

##### ② 詳細報告事例、ホームページ掲載事例を選定し依頼中

##### ③ 健康危機事例の活用方法

過去592事例について、保健所の健康危機管理の参考となるよう、項目ごとに「初心者向け標準事例」、「応用事例」を選定した。活用方法について検討中である。

##### ④ 鳥インフルエンザへの対応について、事例をもとに検討中

#### 【パブコメへの対応】

##### ① 厚生労働省7月25日発「食品、添加物等の規格基準の一部改正(生食用食肉の規格基準設定)」に関する意見募集について、意見を取りまとめ提出した。

##### ② 消費者庁7月22日発「食品衛生法施行規則の一部改正案に関する御意見募集」について、意見を取りまとめ提出した。

##### ③ 厚生労働省8月15日発「新型インフルエンザ対策行動計画」(改定案)に関する意見募集について、意見を取りまとめ提出した。

#### 【広報活動】

##### ① 雑誌「公衆衛生情報」8月号掲載の座談会への協力

座談会の状況は、公衆衛生情報8月号に「東日本大震災から④ 座談会・東日本大震災の周辺域における知られざる現場対応 健康危機管理の主体的拠点としての保健所の機能を考える」として掲載された。

## [議 事]

第 1 号議案 平成 2 2 年度事業報告（案）及び収入支出決算報告および監査報告（別添資料参照）

第 2 号議案 平成 2 3 年度補正予算（案）について（別添資料参照）

第 3 号議案 平成 2 4 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について（別添資料参照）

第 4 号議案 役員改選について（22 頁参照）

## [地域ブロック活動]

### 【北海道地域ブロック】

#### 1. 平成23年度第1回総会

日時 平成23年7月11日 16:00～17:30

場所 第2水産ビル 会議室（札幌市）

出席者：道立保健所長17名、政令市保健所長2名（欠席4名）

オブザーバー 保健福祉部荒田技監

#### 議事

##### （1）報告事項

- ① 平成23年度事業報告並びに決算報告および監査報告について、事務局から報告があり、出席者に承認される。昨年度作成した医師募集パンフレットは4000部。諸経費として旅費1万円程度、印刷費10万円程、支出は23年度予算で支出処理する。  
パンフレットは道内3医育大学に送付する他、道のホームページへの掲載、全国保健所長会にリンクの依頼を行う予定。
- ② 全国保健所長会第1回理事会等の報告（会長）  
全国保健所長会会長選挙については現在、推薦作業の手続きが進められている。
- ③ 平成22年度叙勲及び表彰等の受賞状況について担当相田副会長より報告
  - ・平成22年度については配付資料のとおり。
  - ・平成23年度については、理事で協議しながらそれぞれ上申手続きを進めている。次の叙勲候補は木村元会長が該当すると思われる。

##### （2）協議事項

- ① 平成23年度事業計画（案）及び予算（案）について、原案通り承認される
- ② 北海道保健所長会会則の改正について森副会長より提案があり出席者に承認される。
  - ・改正案として、振興局所在地の保健所（保健福祉室）の役割および人口規模等を勘案し、22年度まで理事選出保健所であった苫小牧保健所と北見保健所を、それぞれ江別保健所と網走保健所に変更する。
- ③ その他  
理事から提案があった保健所組織機構等の検討会を発足させることとする。

##### （3）その他

道立の看護学院で地元での講師確保が困難な状況になっていることが各地から報告された。

#### 2. 平成23年度第1回理事会

日時 平成23年8月26日（金）13:30～16:30

場所 道庁6F保健福祉部1号会議室

出席 道立保健所理事8名、政令市保健所理事2名、オブザーバー保健福祉部技監

##### <保健福祉部からの連絡事項>

- ① HTLV-1 総合対策について
- ② 放射線測定機器の配置について：センター保健所（10カ所）に配置する

##### <議事>

(1) 報告事項

- ① 全国保健所長会理事会等について（会長）
- ② 各種表彰の推薦状況について：相田副会長より報告
- ③ 各委員会からの報告について：山本副会長より組織機構検討及び保健師等採用に関して現況報告あり
- ④ その他：
  - ・北海道公衆衛生学会評議員選挙についておよび研究集会について（会長）
  - ・保健所長会理事会の開催内容（案）について（山本副会長）：代理出席、政令市保健所への案内通知、ブロック内保健所長への内容伝達の3点につき議論あり。
  - ・全国精神医療審査会23年度札幌シンポジウムについて（相田副会長）

(2) 協議事項

- ① 各地域からの提案事項について検討
- ② 全国保健所長会代議員（補充）の協議：竹内理事（江別）立花理事（網走）2名追加
- ③ 所長会主催研修を本年度も実施する（担当：高垣理事）

【東北地域ブロック】

平成23年度東北地区保健所長会第1回理事会、総会、地域保健推進検討会（地域保健研究会）は、下記の日程にて開催予定であったが、去る3月11日発生した東日本大震災により開催延期を余儀なくされた。

1. 第1回理事会、総会

日 時 平成23年5月26日（木）

会 場 山形市 ホテルキャッスル

・地域保健推進検討会（地域保健研究会）

日 時 平成23年5月27日（金） 10:00～17:00

会 場 山形市 ホテルキャッスル

今後の開催は平成23年12月2日～3日予定としている。

2. 東日本大震災による被災県保健所の状況調査（その1）

被災県の岩手県、宮城県、福島県の県型・市型の保健所全部に対し、「保健所機能罹災状況調査」を実施した。

調査時期 平成23年4月19日～平成23年4月25日

3. 東日本大震災による被災県保健所の状況調査（その2）

被災県の岩手県、宮城県、福島県の県型・市型の保健所全部に対し、「保健所調書」によりニーズ調査を実施した。

調査時期 平成23年4月28日～平成23年5月10日

【関東甲信越静地域ブロック】

1. 総会

日 時： 平成23年7月8日（金） 13時～15時15分

場 所： 静岡県熱海市 熱海後楽園ホテル 2階 富士

議 長： 静岡県保健所長会会長 岩間 真人

出席者：新潟県 2 人、茨城県 2 人、群馬県 4 人、埼玉県 3 人、千葉県 5 人、神奈川県 2 人、川崎市 1 人、山梨県 3 人、長野県 5 人、静岡県 7 人計 34 人委任状：60 人

(1) 司会進行 奈良 雅文（富士保健所長）

総会成立確認（出席者 34 人、委任状 60 人で過半数を超えており、総会成立）

(2) 開会挨拶 岩間 真人（御殿場保健所長）

(3) 来賓挨拶 鶴田 憲一（静岡県理事）

(4) 議事進行 岩間 真人（御殿場保健所長）

①平成 22 年度収支決算及び平成 23 年度収支予算（案）について

資料に基づき事務局より説明 全会一致で了解

②会則の改正について

資料に基づき事務局より提案趣旨及び改正内容を説明。

提出議案の字句が一部修正され、承認された。

③提案議題

ア「措置入院解除のための症状消退届提出と措置解除日との関係について」

（埼玉県提案）

イ「保健所が地域保健推進上実施したい事業予算の確保について」

（山梨県提案）

ウ「地域に定住する外国人に対する保健衛生上の指導の立場をどのように確保

するか。就学状況、現在及び今後の福祉上の課題（DV、児童虐待、介護等）の把握状況はどうか。」

（山梨県提案）

エ「原子力発電所事故に伴うスクリーニング検査の対応について」

（新潟市提案）

オ「東日本大震災における関東甲信越静各保健所における

被災地区への支援状況と課題について」

（静岡県提案）

④次期開催県について

慣例に基づき、次期の開催県は、山梨県であることが確認された。

(5) 報告事項

① ブロック選出理事について

小松 仁（長野県諏訪保健所） 古屋 好美（山梨県中北保健所）

岩間 真人（静岡県御殿場保健所）

② 第 68 回全国保健所長会案内

今年度総会は 10 月 18 日（火）、秋田県 秋田キャッスルホテルで行う予定

(6) 閉会挨拶

静岡県保健所長会副会長 三間屋 純一（熱海保健所長）

2. 研修会

日 時：平成 23 年 7 月 8 日（金） 15：30～17：00

場 所：熱海市 熱海後楽園ホテル タワー館 2 階「富士」

座 長：岩間 真人（御殿場保健所長）

演 者：安田 清（静岡県立総合病院災害医療センター長、救急診療部長）

演 題：「広域大災害時の医療…東海大地震への準備～東日本大震災の経験を活かして」

安田先生は、阪神大震災での支援活動をきっかけに災害医療に参加。平成 19 年には、災害時の医療訓練を住民に指導する NPO 法人を設立した。今回の東日本大震災では、発災翌日から 3 日間岩手県宮古市の病院で治療にあたった経験から、震災直後の医療現場の課題を挙げ、保健所が医療面のリーダーになり初動対応をと東海地震への備えに向け、示唆に富んだ講演を聞くことができた。災害時における地域独特のトリアージも提示した。特に、地域の皆で出来る事は、「地域の皆で役割分担してやろう！」と災害に備えて地域力の向上を訴えた。

講演後、質疑応答も活発に行われ、有意義な研修会であった。

### 3. 「地域保健推進戦略会議（関東甲信越静ブロック）」

日 時：平成 23 年 7 月 9 日（土） 10 時～16 時

場 所：静岡県熱海市 KKR ホテル熱海

目 的：東日本大震災を経験し、被災保健所支援と東海大震災等、大規模災害に備えた保健所の危機管理体制についての検討

（講演 1）「地域保健対策の動向～東日本大震災への対応も交えて」

講師 町田宗仁 厚生労働省健康局総務課地域保健室室長補佐  
座長 小松 仁（長野県諏訪保健所長）

（講演 2）「大震災に備えての保健所の危機管理体制について  
～東日本大震災からの教訓を生かした今後の対応」

講師 尾島俊之 浜松医科大学医学部健康社会医学講座教授  
座長 岩間 真人（静岡県御殿場保健所長）

（パネルディスカッション）

- ①「被災地保健所の立場から」 遠藤 幸男（福島県県南保健所長）
- ②「支援保健所の立場から」 月岡 恵（新潟市保健所長）
- ③「原子力災害について」 緒方 剛（茨城県筑西保健所長）
- ④「健康危機管理について」 中瀬 克己（岡山市保健所）

座 長：浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授 尾島俊之

助言者：厚生労働省健康局総務課地域保健室長補佐 町田宗仁

全国保健所長会会長 澁谷いづみ

（総 括） （財）日本公衆衛生協会理事長 多田羅 浩三  
厚生労働省健康局総務課地域保健室室長補佐 町田 宗仁  
全国保健所長会 会長 澁谷 いづみ

（グループワーク・発表・総括）

- 緊急時、現地はとても混乱している中で、携帯電話など使えない状況で、いかに現地から正確な情報を集めるか、平常時からの工夫が必要である。
- 保健所は、水、衛生、食料、住居の 4 分野の調整、運営を中心になって行う事が重要。
- 避難所のサーベイランス、特に感染症が重要。情報機器の有効な利用。
- 現地の職員の疲弊が厳しい。住民から嫌味を言われ、余計に落ち込む。公助の限界がある。
- 支援には、多くの職種が行くが、他職種が縦割りで動くので無駄な動きもあった。きちんと役割を明確にして位置づけるべきである。
- 陸前高田市は、本部としてかなり機能していた。市と保健所と姉妹都市が本部機能をかなり

発揮していた。

- 災害時要援護者に配慮した「福祉避難所」が大変有効である。
- 支援に入った保健師等に対しての精神的なケアが必要な場合がある。
- 地域防災計画の向上。公助としての限界を示しておけば訓練の仕掛けや工夫が出来る。
- 地域防災のリーダーの人材育成が重要である。
- 厚生労働省の派遣について、県の支援という視点も含めるべきである。
- 公衆衛生 D-MAT のようなシステムが必要。被災地の保健所長が同じような立場で物事を見られるようになるとよい。保健所長をサポートしてくれる体制が必要。
- 公衆衛生医師の支援を DPAT というシステムを検討している。指揮命令をどこがするかを検討している。
- インシデント・コマンド・システムの明確化を検討している。
- 平時に出来ていないことは、災害時に出来ないの、平常時の点検が必要。
- 準備していても出来ないことはたくさんある。しかし準備していなければなにもできない。
- 保健所は、地域の関係ある人々と顔の見える関係作りを行うことが大事。

以上のように現状と課題について多くの意見が出て活発なグループワークであった。

【東京地域ブロック】（会員数計 31 人：特別区 23 人、東京都 6 人、八王子市 1 人、町田市 1 人）

## 1. 年次総会

1) 日時・会場：平成 23 年 4 月 21 日 区政会館

2) 出席者：出席 23 人 委任状 7 人

### 3) 議事

- (1) 平成 22 年度事業報告 承認
- (2) 平成 22 年度決算報告 監査報告 承認
- (3) 平成 23 年度事業計画 承認
- (4) 平成 22 年度予算 承認

### (5) 役員選出

会長 金田（荒川区）  
副会長 大黒（多摩立川）  
庶務幹事 清古（千代田） 早川（多摩小平）  
会計 矢内（台東） 友松（西多摩）  
監事 村主（池袋） 赤穂 南多摩

## 2. 研修会

### ①4 月 21 日 講演会

講演演題 東京都の医療連携や在宅医療の具体的な事例について

講師 順天堂大学医学部公衆衛生学講座 准教授

田城 孝雄 氏

出席者 会員 22 名 その他 18 名 合計 40 人

### ②平成 23 年度 「地域保健推進戦略会議（東京ブロック）」

テーマ 東日本大震災、被災地保健所支援と災害に備えた今後の保健所体制再構築について

日時 平成 23 年 7 月 20 日（水）10：00～17：00



場所 アルカディア市ヶ谷

参加者 会員 18 名 その他 18 名 合計 36 名

### 3. 懇親会

日時：平成 23 年 5 月 19 日（木） 午後 7 時より 9 時まで

場所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 イーストルーム

参加者：現役保健所長 21 名、退職保健所長 1 名、来賓 12 名 計 34 名

退職者 上木 隆人（前多摩立川保健所長）

黒岩 京子（前板橋区保健所長）

三好 温子（前練馬区保健所長）

新会員 矢内 真理子（台東保健所長）

原田 美江子（板橋区保健所長）

鈴木 眞美（練馬区保健所長）

## 【東海北陸地域ブロック】

### 1. 第 1 回役員会

日時 平成 23 年 5 月 27 日（金） 13：00～15：30

場所 富山県富山市 C i C 3 階 とやま市民交流館 学習室 4

議題

（1）平成 23 年度東海北陸ブロック保健所長会役員について

（2）全国保健所長会理事会報告について

（3）平成 23 年度東海北陸ブロック保健所長会総会について

（4）地域保健推進戦略会議について

（5）その他（東日本大震災被災地への支援状況に関する情報交換等）

### 2. 第 2 回役員会

日時 平成 23 年 7 月 29 日（金） 12：00～12：50

場所 富山県富山市 公立学校共済組合 パレブラン高志会館 203 号室

議題

（1）平成 23 年度東海北陸ブロック保健所長会総会について

（2）その他（腸管出血性大腸菌に関する情報交換等）

### 3. 総会

日時 平成 23 年 7 月 29 日（金） 13：00～13：30

場所 富山県富山市 公立学校共済組合 パレブラン高志会館 カルチャーホール

議題

（1）平成 22 年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について

（2）平成 23 年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画（案）について

（3）その他（全国保健所長会理事会報告等）

### 4. 地域保健推進戦略会議

日時 平成 23 年 7 月 29 日（金） 13：30～17：30

場所 富山県富山市 公立学校共済組合 パレブラン高志会館 カルチャーホール

内容

(1) テーマ1：「東日本大震災に関わる今後の支援及び

大震災に備えた今後の保健所の体制再構築」

コーディネーター 石川県石川中央保健所 所長 伊川 あけみ

富山県中部厚生センター 所長 大江 浩

講義「地域保健対策の動向～東日本大震災の対応も交えて～」

講師 厚生労働省健康局総務課地域保健室 室長補佐 町田 宗仁

話題提供者 愛知県一宮保健所 所長 松本 一年

名古屋市中保健所 所長 明石 都美

・グループワーク

・グループワーク発表

(2) テーマ2：「広域的に発生した焼き肉チェーン店による食中毒事件への対応」

話題提供者 富山県砺波厚生センター 所長 垣内 孝子

・ディスカッション

座長 三重県津保健所 所長 中山 治

(3) 総括

(財)日本公衆衛生協会 会長 多田羅 浩三

全国保健所長会 会長 澁谷 いづみ

【近畿地域ブロック】

1. 第1回役員会

(1) 日時 平成23年4月15日(金) 13:30～

(2) 場所 大阪市 大阪市保健所

(3) 議事

①第63回近畿保健所長会総会について

②役員の変替について

③その他

2. 第63回近畿保健所長会総会

(1) 日時 平成23年5月12日(木) 13:00～16:30

(2) 場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター)

大阪府大阪市中央区北浜東3-14

(3) 内容

① 表彰

(平成22年7月9日開催の第49回日本公衆衛生学会近畿地方会演題より選考)

◆ 「こんにちは赤ちゃん事業とその後の育児状況の変化を振り返って」

(京都市中京保健センター)

◆ 就学前発達障害児支援システムの構築

～5歳児モデル健診の取り組みから～

(京都府中丹西保健所)

◆ 精神保健福祉センターにおける自死遺族支援

(滋賀県立精神保健福祉センター)

② 議事 1

- ・平成 2 2 年度事業報告及び収支決算報告について
- ・監査報告について
- ・平成 2 3 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・役員の交替について（報告）

③ 議事 2 提案議題

- ・医療的ケアを要する障がい児の在宅支援体制の取組について  
（大阪府寝屋川保健所）
- ・2 か月目以降の保健活動について 一阪神・淡路大震災の記録から一  
（兵庫県姫路保健所）

【中国・四国地域ブロック】

第 1 回中四国ブロック保健所長会理事会

日 時 6 月 24 日（金）13：30～16：30

場 所 岡山市 サン・ピーチ岡山

出席者 8 名

議 題 今年度の事業計画について

- ①中四国ブロック保健所長会総会（徳島市開催）運営について
- ②地域保健総合推進事業地域保健戦略会議の運営について
- ③平成 2 2 年度事業報告
- ④平成 2 2 年度収支決算状況報告
- ⑤平成 2 3 年度事業計画案について
- ⑥平成 2 3 年度予算案について
- ⑦全国保健所長会長など選出に係る推薦委員会委員の選出及び会長候補者の推挙について

【九州地域ブロック】

1. 第 1 回理事会（鹿児島県）

日 時 平成 23 年 7 月 14 日（木）12：00～13：30

場 所 かがしま県民交流センター（鹿児島市）

出席者 理事 10 名、監事 2 名

議 事

（1）報告事項

①監事の就任状況

- ・監事 2 名のうち、1 名が新たに就任

②各県会長の改選に伴う理事の変更

- ・福岡市 竹中副会長、長崎県 木下理事、熊本県 中田理事、宮崎県 藤崎理事

（2）議題

①平成 22 年度事業報告及び決算、監査報告

- ・長崎市で、7 月 8 日～9 日の 2 日間、第 1 回理事会・総会・意見交換会・研修会を開催し、福岡市で第 2 回理事会を開催（1 月 20 日）した。

②平成23年度事業計画及び予算

- ・理事会2回（鹿児島県・福岡県）、総会・研修会（鹿児島県）を開催予定
- ・平成21年度第1回理事会で承認された年会費額の改正について、各県・市ごとの額を事務局説明により確認

③各県・市の提出議題について

④今後の事業方針について

⑤平成24・25年度の総会・理事会の開催について

- 平成24年度第1回理事会・総会は熊本県、第2回理事会は佐賀県に決定
- 平成25年度第1回理事会・総会は沖縄県、第2回理事会は宮崎県で予定

⑥ブロック会長と全国理事の持ち回りについて

- ローテーションにより、平成24年度・平成25年度は、宮崎県、鹿児島県の就任を予定

⑦その他

- 全国保健所長会の平成24年度会長等の選出について、推薦委員会の委員である宇田理事から現在の状況について説明があり、理事会としては宇田理事に一任することを確認。

2. 総会

日 時 平成23年7月14日(木)14:00～17:00

場 所 かがしま県民交流センター（鹿児島市）

出席者 23名（欠席50名のうち委任状45名により、総会成立）

議 事

(1) 報告事項 理事会の内容に同じ

(2) 議題

①平成22年度事業報告及び決算、監査報告

②平成23年度事業計画及び予算

③各県・市の提出議題について（照会11件、話題提供1件）

- ・福島原発事故避難住民に対するサーベイランスのための医師、診療放射線技師等の派遣について
- ・東日本大震災にかかる派遣状況や現地に対する支援内容について
- ・保健師等技術職の資質向上の取り組みについて
- ・各県の結核対策の取り組みについて
- ・生食用食肉等に係る飲食店の食品衛生指導について
- ・生食用食肉を取り扱う施設に対する緊急監視結果について
- ・衛生担当職員の資質向上について
- ・多頭飼養者への指導等について
- ・医療法第8条に基づく診療所開設届時の開設者個人の確認について
- ・東日本大震災を受けての健康危機管理体制構築に向けた取り組みについて
- ・県境を接する保健所間の精神保健福祉法第24条（警察官の通報）通報等受理後の連携について
- ・過去の環境放射能汚染への理解について

④今後の事業方針について

⑤平成24・25年度の総会・理事会の開催について

⑥ブロック会長と全国理事の持ち回りについて

⑦その他（報告1件）

・平成24年全国保健所長会の会長等の選出について

①②④⑤⑥⑦については、理事会での協議どおりに承認された。

### 3. 研修会

日 時 平成23年7月15日(木)9:20~12:00

場 所 かがしま県民交流センター（鹿児島市）

内容等

・挨拶 鹿児島県始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部長 宇田英典

・講演1「焼酎文化～酒と健康を中心に」

講師 鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター教授 鮫島吉廣

・講演2「がんの粒子線治療について」

講師 (財)メディポリス医学研究財団がん粒子線治療研究センター長代理 荻野 尚

#### 【指定都市部会】

##### ○第68回全国保健所長会指定都市部会保健所長会

日 時：平成22年8月2日（火）～8月3日（水）

場 所：「チサンホテル&コンファレンスセンター新潟」（新潟市）

出席者：19都市（21保健所長）

議 事：

#### 1. 議題

東日本大震災の関連事項について

（1）今回の震災に際して行った保健所の対応（支援）について

（2）医療救護活動について

（3）放射線関連事故に対する保健所の危機管理体制について

#### 2. 承り事項：

（1）結核の謙譲・健診等の体制について

（2）災害時要援護者の把握と支援計画について

（3）大腸がん検診の無料クーポン券制度について

（4）生食用食肉に係る監視指導について

議事に入る前に、新潟市保健衛生部長の野本信雄氏と指定都市部会会長の南部由美子先生より挨拶があり、次いで自己紹介をおこなった。新しく所長になられた方もあり、それぞれが現状などを加え自己紹介を行った。

引き続き、指定都市部会会長・副会長の選出が行われ、会長に大熊恒郎（仙台市青葉保健所）が、副会長に益子まり（川崎市川崎保健所）が選出された。

議題の東日本大震災への各保健所の対応については、既に7月末をもって派遣を取りやめた市から、保健師を1名は1年間、1名は2ヶ月交代で長期に派遣している市まで様々な対応がなされていた。支援チームの継続はいかに進めるべきか、どの程度の支援期間が必要なのか、等議論された。

参加市で唯一の被災市である仙台市からは、一見しただけでは被災したのが分からぬほど比較的早期に回復し経済活動も盛んに行われている仙台市と、直接津波の被害を被り今も酷い状況が続いている沿岸地帯の市町村とで、被災地間には大きな格差がある現状と、被災当初の一番の問題は、情報が通じなかったこと、ライフラインの復旧の遅れで被害が増幅されたこと等が報告された。

医療救護所に関しては、いずれの市も、防災計画で市が医療救護所を立ち上げることになっているが、平時に医療行為が行われていない場所に設置された医療救護所の機能について疑問視する向きから、トリアージの場所ととらえている市まで様々なとらえ方がされていた。

放射線関連事故については、原発を抱えている県にある都市においても具体的な検討が進んでいない現状が報告された。

翌3日は施設視察で、「北方資料館」と「花育・食育センター」を視察した。花育・食育センターは今年秋に会館予定の、現在建設中の施設で我々が最初の見学者ということであった。又、希望者には、午後から新潟水俣病資料館（ふれあい館）の見学も組まれた。

平成24年度は、さいたま市で指定都市部会を開催する予定。

#### 【特別区部会】（会員数 特別区23人）

##### 1. 年次総会

1) 日時・会場：平成23年4月21日（木） 区政会館

2) 出席者 15人 委任状 6人

##### 3) 議事

(1) 平成22年度事業報告 承認

(2) 平成22年度事業計画 承認

(3) 役員選出

会長 金田（荒川区）

副会長 倉橋（渋谷区）

ブロック幹事；①清古（千代田）②矢内（台東）③倉橋（渋谷区）④村主（池袋）⑤浦山（江東区）

全国保健所長会代議員 金田、倉橋、清古、村主、浦山

##### 2. 定例会

定例開催：特別区保健衛生主管部長会終了後

4月15日 区政会館

① 総会について

② 懇親会について

③ 東京都主催各種委員会の推薦依頼について

④ 東京食品販売国民健康保険組合 保健事業委員会委員の推薦依頼について

5月12日 区政会館

① 全国保健所長会長表彰、名誉会員推薦について

② 平成23年度地域保健総合推進事業 地域保健推進戦略会議

実施要領 東京ブロック案について

③ 東京保健所長会懇親会について

④ 生食用食肉の安全確保について、全国保健所長会からの国要望について

6月2日 区政会館

① 全国保健所長会長表彰 候補者推薦の件

中央区 加藤アヤ子 保健師

足立区 高橋朝子 環境衛生監視員

② 公衆衛生協会主催 平成23年度 東京ブロック地域保健推進戦略会議の件

③ 全国保健所長会報告

千代田健康開発事業団 「チョダ地域保健推進事業」のご案内 保健活動助成

④ 東京保健所長会 専門部会について

⑤ 東京保健所長会懇親会の結果報告

7月7日 区政会館

① 岡山大学土居教授の研究結果について

「東京都におけるディーゼル車排出規制と死亡率に関する研究」

必要なら、講義をしてくださるとのこと

② 川崎病支援研究所 ポリショイサーカス公演チラシ、ポスター配布の件

③ クオンティフェロン第3世代の検査結果について（世田谷区西田所長より）

④ 公衆衛生協会主催 平成23年度 地域保健推進戦略会議（東京ブロック）の件

現在の参加状況28名（うち特別区18名）

意見交換会に放射能関係の講師2人が参加してくれる

⑤ 東京保健所長会 専門部会 部会長、副部会長の件

東京都保健所、特別区保健所長からそれぞれ1名ずつ推薦し

後はその2人で決めていただく

できるだけ、内容は問わないが活動していただきたい。

8月4日 葛飾区保健所

① 東京保健所長会 保健政策部会研修会のお知らせ

## 【政令市部会】

1. 部会構成員（平成23年4月1日現在）

- ・中核市 41市、政令市 8市 ※町田市、高崎市が新規加入
- ・保健所数 49（各市1保健所）

2. 活動報告（平成23年4月1日～平成23年8月31日）

（1）平成22年度決算・事業報告および平成23年度予算・事業計画の承認

今年度から書面審議。承認について6月2日付けで会員市へ報告。

（2）政令市保健所間における調査等の実施

- ① 歯周疾患検診に関する調査（宇都宮市）
- ② がん検診等に係わる自己負担金の取扱いについて（宮崎市）
- ③ 保健所運営協議会の設置状況について（高槻市）
- ④ 東日本大震災被災地への支援状況について（下関市）
- ⑤ 保健所における針刺し事故等について（尼崎市）
- ⑥ 医療機関へ周知する文書の通知方法等について（秋田市）

⑦予防接種事業における公費負担のあり方について（呉市）

⑧精神保健福祉協会との関わりについて（松山市）

【全国保健所長会会長、監事推薦委員会経過報告】

6月2日 会長より各地域ブロック・部会代表者に次期会長、監事候補者、及び会長等選出に係る推薦委員会委員の選出を依頼

7月7日 会長候補者2名、監事候補者3名、及び推薦委員会委員11名が決定

推薦委員会		
北海道ブロック	北海道岩見沢保健所	廣田 洋子
東北ブロック	郡山市保健所	阿部 孝一
関東甲信越静岡ブロック	静岡県御殿場保健所	岩間 真人
東京ブロック	東京都多摩小平保健所	大黒 寛
東海北陸ブロック	三重県津保健所	中山 治
近畿ブロック	京都府山城北保健所	和田 行雄
中国・四国ブロック	愛媛県松山保健所	竹之内 直人
九州ブロック	鹿児島県始良 兼 大口保健所	宇田 英典
指定都市部会	川崎市川崎保健所	益子 まり
政令市部会	函館市保健所	山田 隆良
特別区部会	荒川区保健所	金田 麻里子

7月12日 推薦委員の互選により委員長に中山（三重県津保健所）を選出  
委員会の進め方及び各候補者に対する意見について、インターネットによる意見交換を始める

7月29日 会長候補者1名の推薦辞退届の提出

8月10日 委員会の総意として

会長候補者：佐々木隆一郎（長野県飯田保健所）

（北海道、関東甲信静）各ブロックの推薦

監事候補者：阿部 孝一（郡山市保健所）

（北海道、東北）各ブロックの推薦

浦山 京子（特別区江東区保健所）

東京ブロック及び特別区部会の推薦

野尻 孝子（和歌山県御坊保健所）

近畿ブロックの推薦

以上4名を推薦することに決定

8月12日 各候補者から内諾を得る

8月23日 第2回理事会で経過を報告